

「中期経営計画」(2025年度から2027年度)

1 保証業務の的確な実施及び財務基盤の安定化

(1) 顧客への親身な対応と関係団体との連携

- ア 顧客への的確な対応、とりわけコロナ感染症の影響を受けられた顧客や被災された顧客への親身な対応を継続
- イ 日本政策金融公庫・沖縄振興開発金融公庫との環境変化を踏まえた連携強化
- ウ 顧客負担と基金収支の両面からの保証料率の適正な設定及び検証

(2) 代位弁済審査及び債権回収の適切な取組

- ア 代位弁済申請案件の適正かつ迅速な処理
- イ 原則として任意回収

(3) 財務基盤の安定化

- ア 原則として借入せず
- イ 運用する国内債券の多様化(銘柄、ソーシャルボンド債、期間)
- ウ 特定費用準備資金の適切な取崩し
- エ 公益法人制度の見直しに即した適切な運営

2 業務の効率的・効果的な取り組み

(1) オフィスの合理化に資する業務効率化システムの活用

(注) BCPへの対応等を念頭に置いたシステムリプレイスは予定どおり完了したので、「業務効率化システムの構築と活用」を「業務効率化システムの活用」に改める。

- (2) ゼロベースでの検討に基づく事務の合理化・効率化・標準化策の一層の推進
- (3) 定年制見直し等の雇用環境の変化を踏まえ、必要な人材確保に向けた雇用制度の整備

3 ガバナンス及び内部統制の的確な運営

- (1) 「ガバナンス・コード」を踏まえたガバナンス体制、内部統制体制の一層の定着化
- (2) コンプライアンス態勢とリスク管理態勢の強化
- (3) ホームページの活用等による事業運営にかかる透明性の確保と情報発信の取組